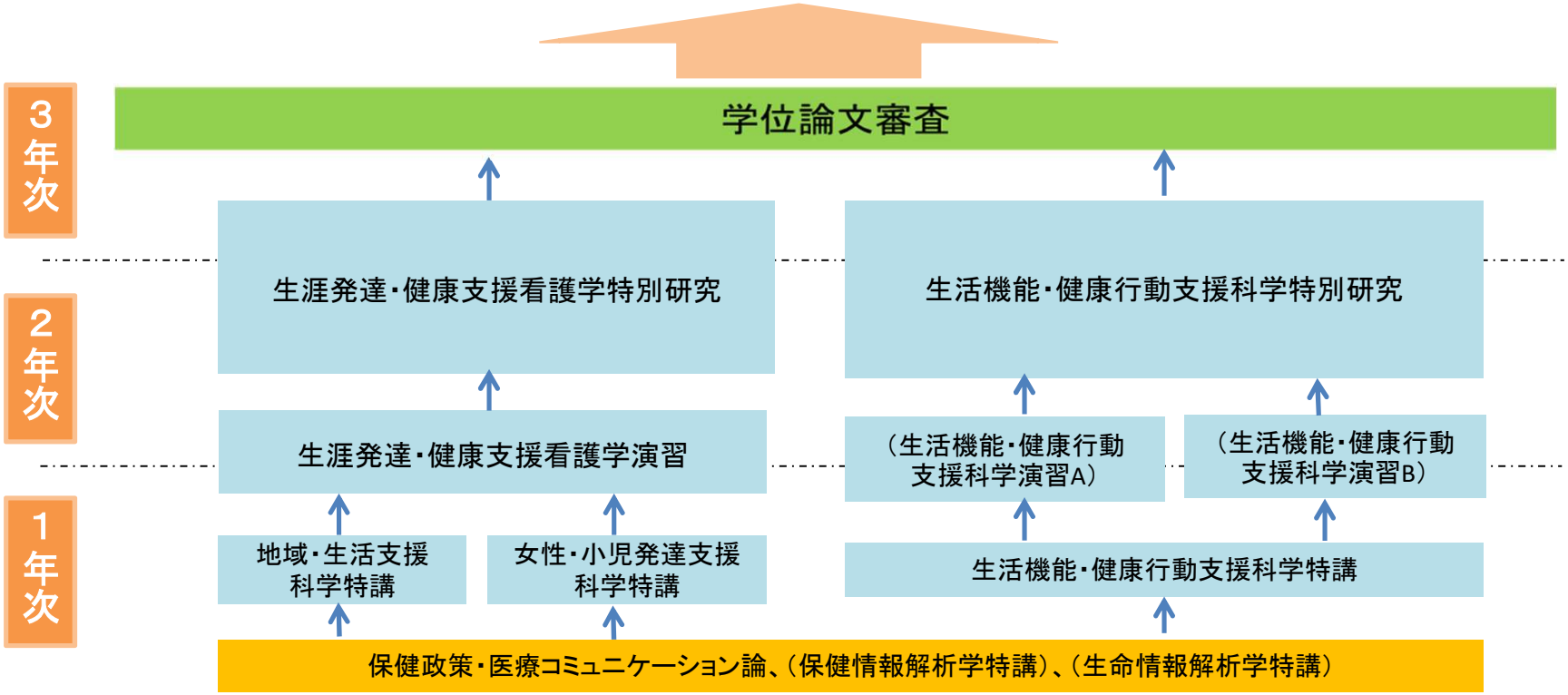
医学系研究科保健学専攻【博士後期課程】 カリキュラムツリー

◆生涯発達・健康支援看護学分野　　◆生活機能・健康行動支援科学分野

DP	1. 向上心と協調性，そして地域住民の健康や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を身につけている。	2. 科学の進歩及び社会の医療ニードの変化に対応し，国際的視点を持ちつつ生涯を通して自らを高めることができる。	3. 患者・障がい者及び住民の健康の維持・増進と健康障がいからの回復に寄与するために医療人として責任をもって行動をとることができる。	4. 患者・障がい者・家族と保健・医療・福祉チームのメンバーと良好なコミュニケーションをとり，チームの一員としての役割を果たすことができる。



CP	1. これまでに修得した保健学に関する知識・技術・研究基盤能力を深化させ，より幅広い知識と深い洞察力，高度な論理的思考を有し，創造性に富む優れた研究活動ができる高度専門職者を育成するための教育課程を編成する。	2. 少子高齢化問題に焦点を当て，共通科目では，保健政策の現状と課題への深い理解と，高度な情報処理能力を養成する。	3. 次世代を健やかに育てるための基盤としての女性と子供への支援，または高齢者の身体・心理・社会的特性を考慮した健康支援に繋がる，高度な学術レベルの研究を実現するための研究指導を行う。

共通科目　　分野専門科目　　（　）は選択科目を示す